

# 消費者が信頼性の高い健康情報を を獲得するためには？？

2005年5月25日  
看護情報学  
井戸有美

**このテーマを選んだ背景**

最近のニュース:

## TBS番組のダイエット法、吐き気などの苦情

650件

2006年05月09日22時03分

TBS系列の情報番組「ピーかんバディ！」で紹介された白インゲン豆を使ったダイエット法を試したところ、吐き気や下痢などの症状が出たとの苦情などは、TBSの9日午後3時までの集計で延べ650件になった。

TBS広報部によると、苦情は番組が放送された翌日の7日から寄せられた。重症者はいないという。同社は9日昼の情報番組で、このダイエット法を控えるよう呼びかけた。

# 今回のプレゼンのために検索してみると・・・

- 今回のプレゼンのために、「ALS(筋萎縮性側索硬化症)」に自分の家族がなったという設定でインターネットのポータルサイトを用い、ALSの情報を検索してみた。

・ALSってどんな病気？  
・どうやって治療するの？  
・今後どうなるの？

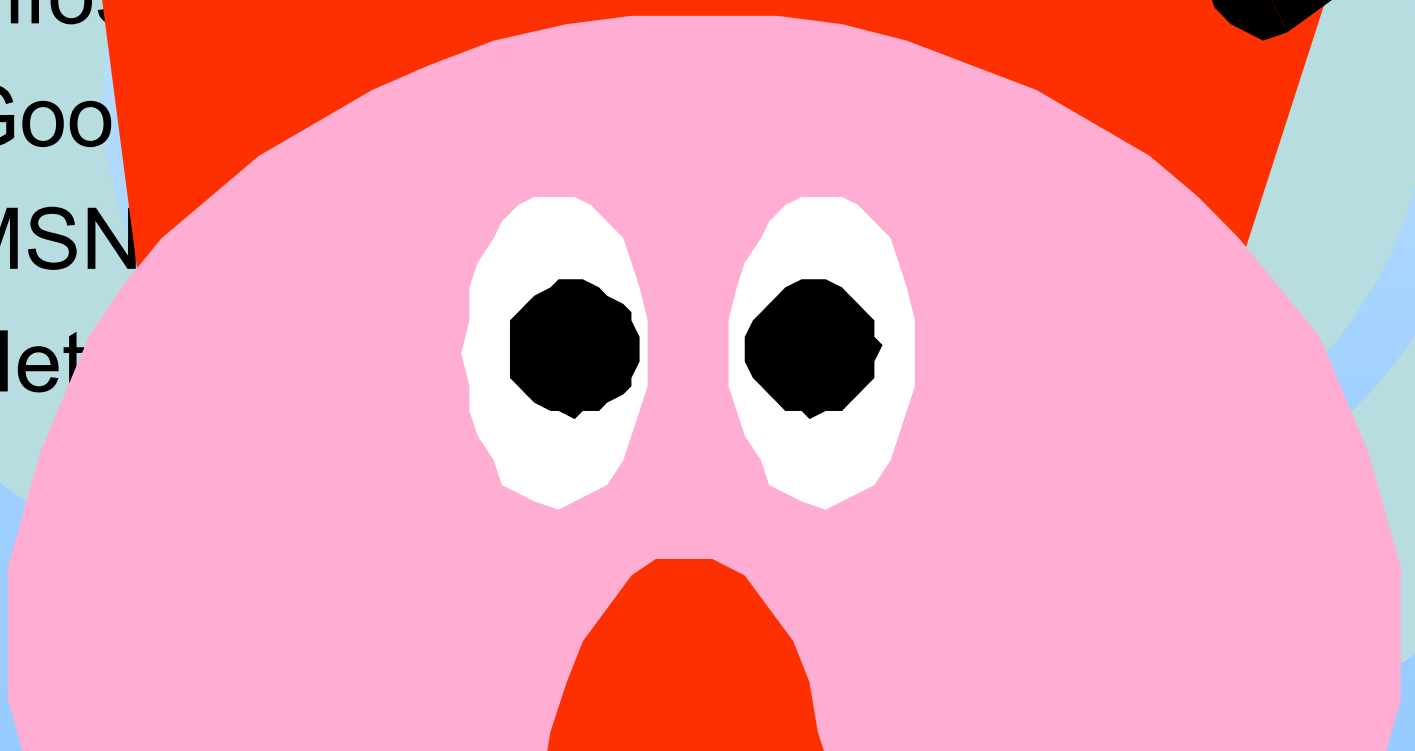


- 検索してみた結果・・・

様々なポータルサイトでキーワード「筋萎縮性側索硬化症」を用いた検索の結果

(2006年5月20日)

- Yahoo Japan 122,000
- Google 6
- Info
- Goo
- MSN
- Net



# 最近のニュースと検索結果から感じた疑問2点

## その1

こんな多くの情報がある中で、自分が知りたい情報、しかも信頼性の高い情報にアクセスするにはどうしたらいいのか？

最初の100件を見るので精一杯。最初のページに載っているサイトはアクセスしやすいけれど、最初のほうに載っているサイトの情報は信頼性の高い情報なのか？

## その2

こんなに多くの情報はあっても、各メディア情報の信頼性はどうやって判断すればいいのか？

## 疑問点その1- :

# 各ポータルサイト検索結果のWeb サイト掲載順位の決め方

### ■ Yahoo Japan ( ? )

### ■ Google:

ページAからページBへのリンクをページAによるページBへの支持投票とみなし、Googleはこの投票数によりそのページの重要性を判断。単に票数、つまりリンク数を見るだけではなく、票を投じたページについても分析。「重要度」の高いページによって投じられた票はより高く評価されて、それを受け取ったページを「重要なもの」にしていく。こうした分析によって高評価を得た重要なページには高いPageRankTM (ページ順位) が与えられ、検索結果内の順位も高くなる。

### ■ Infoseek:

検索結果の並び順を選択できる。 スコア順(サイトごと)  
同一のWEBサイト上にある複数のWEBファイルをサイト単位にまとめ、スコアの高い順に並び替えます。

(スコア順(ページごと)、新しい順(ページごと)、古い順(ページごと) )

### ■ Goo (問い合わせ中)

### ■ MSN: 完全に自動化。Web ページのコンテンツ、ページにリンクしているWeb サイトの数と品質、および Web サイトのコンテンツとキーワードとの関連性などを分析してランク付け。金銭を支払って Web サイトのランクを上げることは不可能。

### ■ Netscape

検索語句と関係の深いウェブサイトを、関連性の高い順にリスト表示

疑問点その1- :

## 各ポータルサイト検索結果のWeb サイト掲載 順位の相違

- Yahoo Japan
- Google
- Infoseek
- Goo
- MSN
- Netscape

それぞれのポータルサイトで  
キーワード「筋萎縮性側索硬化症」  
を用い検索したら…

結果へGO!





	Yahoo		Google		Infoseek		Goo		MSN		Netscape	
1	日本ALS協会	日本ALS協会	難病情報センター   筋萎縮性側索硬化症 特定疾患情報	難病情報センター	難病情報センター   筋萎縮性側索硬化症 特定疾患情報	難病情報センター	難病情報センター   筋萎縮性側索硬化症 特定疾患情報	難病情報センター	筋萎縮性側索硬化症	患者	難病情報センター   筋萎縮性側索硬化症 特定疾患情報	難病情報センター
2	みえalsの会	ボランティア団体	ALS(筋萎縮性側索硬化症)の説明と最新情報	患者	難病情報センター   ALS全国医療情報ネットワーク	難病情報センター	難病情報センター   ALS全国医療情報ネットワーク	難病情報センター	難病情報センター   筋萎縮性側索硬化症 特定疾患情報	難病情報センター	難病情報センター   ALS全国医療情報ネットワーク	難病情報センター
3	難病情報センター   筋萎縮性側索硬化症 特定疾患情報	難病情報センター	神経難病解説-筋萎縮性側索硬化症(ALS)	不明	ALS(筋萎縮性側索硬化症)の説明と最新情報	患者	ALS(筋萎縮性側索硬化症)の説明と最新情報	患者	筋萎縮性側索硬化症	不明	ALS(筋萎縮性側索硬化症)の説明と最新情報	患者
4	船後流短歌	ブログ患者	<a href="#">筋萎縮性側索硬化症 - Wikipedia</a>	フリー百科事典(Wikipedia)	神経難病解説-筋萎縮性側索硬化症(ALS)	不明	神経難病解説-筋萎縮性側索硬化症(ALS)	不明	ALS 筋萎縮性側索硬化症のページ	勤労者医療生活協同組合職員	神経難病解説-筋萎縮性側索硬化症(ALS)	不明
5	Dr 山本の診察室	医師	筋萎縮性側索硬化症	患者	<a href="#">筋萎縮性側索硬化症 - Wikipedia</a>	フリー百科事典(Wikipedia)	<a href="#">筋萎縮性側索硬化症 - Wikipedia</a>	フリー百科事典(Wikipedia)	筋萎縮性側索硬化症	財団法人大阪難病研究財団	<a href="#">筋萎縮性側索硬化症 - Wikipedia</a>	フリー百科事典(Wikipedia)
6	難病ALSと共に	患者の家族	ALS = 筋萎縮性側索硬化症	大学教授(医療関係以外)	筋萎縮性側索硬化症	患者	筋萎縮性側索硬化症	患者	筋萎縮性側索硬化症(ALS)とは	病院	筋萎縮性側索硬化症	患者
7	ALS/LIVE TODAY FOR TOMORROW	医師の団体	QOLeLifeLine:筋萎縮性側索硬化症(ALS)	情報提供専門の会社	ALS = 筋萎縮性側索硬化症	大学教授(医療関係以外)	ALS = 筋萎縮性側索硬化症	大学教授(医療関係以外)	ALS[筋萎縮性側索硬化症]アミトロについて	不明	ALS = 筋萎縮性側索硬化症	大学教授(医療関係以外)
8	<a href="#">筋萎縮性側索硬化症 - Wikipedia</a>	フリー百科事典(Wikipedia)	筋萎縮性側索硬化症	不明	QOLeLifeLine:筋萎縮性側索硬化症(ALS)	情報提供専門の会社	QOLeLifeLine:筋萎縮性側索硬化症(ALS)	情報提供専門の会社	筋萎縮性側索硬化症	不明	QOLeLifeLine:筋萎縮性側索硬化症(ALS)	情報提供専門の会社
9	静岡県ALS友の会	日本ALS協会静岡支部	筋萎縮性側索硬化症(ALS)はどんな病気?	不明	筋萎縮性側索硬化症	不明	筋萎縮性側索硬化症	不明	筋萎縮性側索硬化症の原因	国立療養所神経筋難病研究グループ	筋萎縮性側索硬化症	不明
10	神経内科学講座	医科大学	ぷらぷらカメラひとり歩き:ALS筋萎縮性側索硬化症	ブログ患者の家族	筋萎縮性側索硬化症(ALS)はどんな病気?	不明	?筋萎縮性側索硬化症(ALS)はどんな病気?	不明	筋萎縮性側索硬化症とむきあって	労働組合	?筋萎縮性側索硬化症(ALS)はどんな病気?	不明

キーワードとして「筋萎縮性側索硬化症」を用いるか、  
「ALS」を用いるかで検索結果は違う。

疑問点その2:

情報の信頼性はどうやって判断したらいいのか？

- ・日本におけるマスメディア事情
- ・生活者が健康に関する情報をメディアを通じて入手する実態
- ・信頼性の高い健康に関する情報を入手するための基準


# . 日本におけるマスメディア事情

## ■ 日本人はどのようなメディアに接する機会が多いのか？


・2005年国民生活時間調査報告書

(2006. NHK 放送文化研究所) 

## ■ 情報メディア別の情報収集用途

・平成17年情報通信白書(2005. 総務省) 

## ■ 年代別にみたインターネット利用率の変化

・平成16年情報通信白書(2004. 総務省) 

# 2005年国民生活時間調査報告書

## (2006. NHK 放送文化研究所)

### □ テレビ

- ・1日の中で国民全体の9割以上が接している“日常メディア”
- ・平日3時間27分、土曜4時間3分、日曜4時間14分

### □ ラジオ

- ・各曜日とも1割強
- ・平日2時間31分、土曜2時間25分、日曜2時間32分

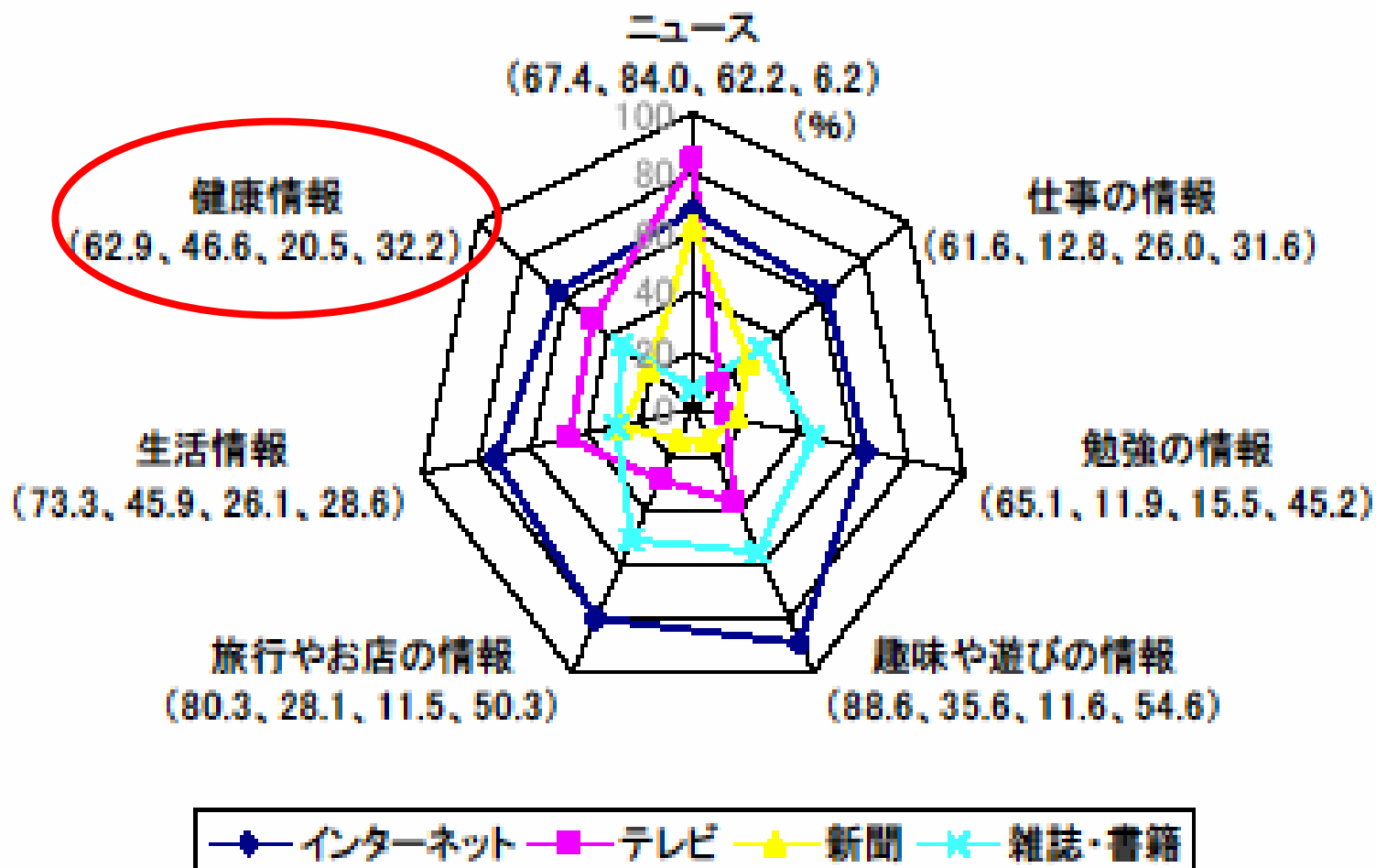
### □ 新聞

- ・平日、土曜、日曜とも45%前後
- ・平日、土曜、日曜とも20分強

### □ 雑誌・漫画・本

- ・平日、土曜、日曜とも国民全体の2割前後
- ・平日1時間9分、土曜1時間23分、日曜1時間22分

# 情報メディア別の情報収集用途(複数回答)



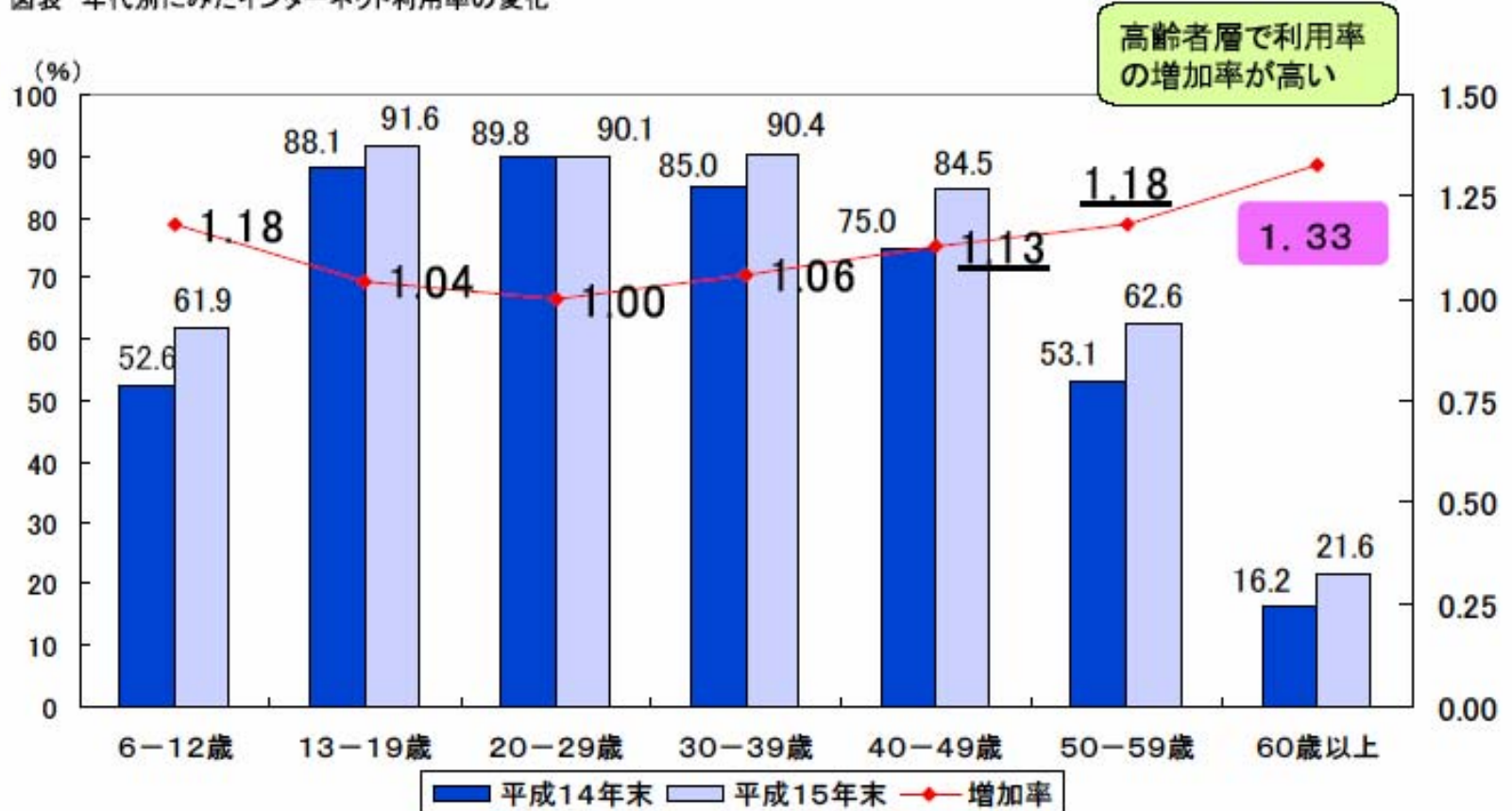
※ ( )内の数字は順に、インターネット、テレビ、新聞、雑誌・書籍

# 年代別にみたインターネット利用率の変化

## (3) 誰でもインターネットに接続

60歳以上が、最もインターネット利用の増加率が高い

図表 年代別にみたインターネット利用率の変化



(出典)「通信利用動向調査」

# 生活者が健康に関する情報を マスメディアを通じて入手する実態

## 生活者が健康に関する情報を入手するきっかけと情報の入手方法

意識調査に基づく医療消費者のエンパワーメントのあり方



(2004 . 藤原ら「医薬産業政策研究所リサーチペーパー・シリーズNo.17」)

## 健康づくりに必要な栄養や食事に関する知識や情報の入手方法

平成12年国民栄養調査 (2000 . 厚生労働省)



中山先生  
マーク

## 日本における生活者のインターネットの医療情報の利用状況

「患者・家族におけるインターネット上の医療(健康)情報の利用状況と意識に関する調査」



(平成13年度厚生科学研究費補助金(医療技術評価総合研究事業)主任研究者  
辰巳治之)



# 「医療消費者の病気や薬への関与と知識に関する実態調査」

(2004. 主任研究者 野林晴彦、藤原尚也)



- アンケートを実施し、医療への関与および病気や薬に関する知識、行動について調査を実施
- 回答者: 患者会に所属する患者767名、一般生活者842名
- 結果:

図6 病気や薬の情報を集めるか

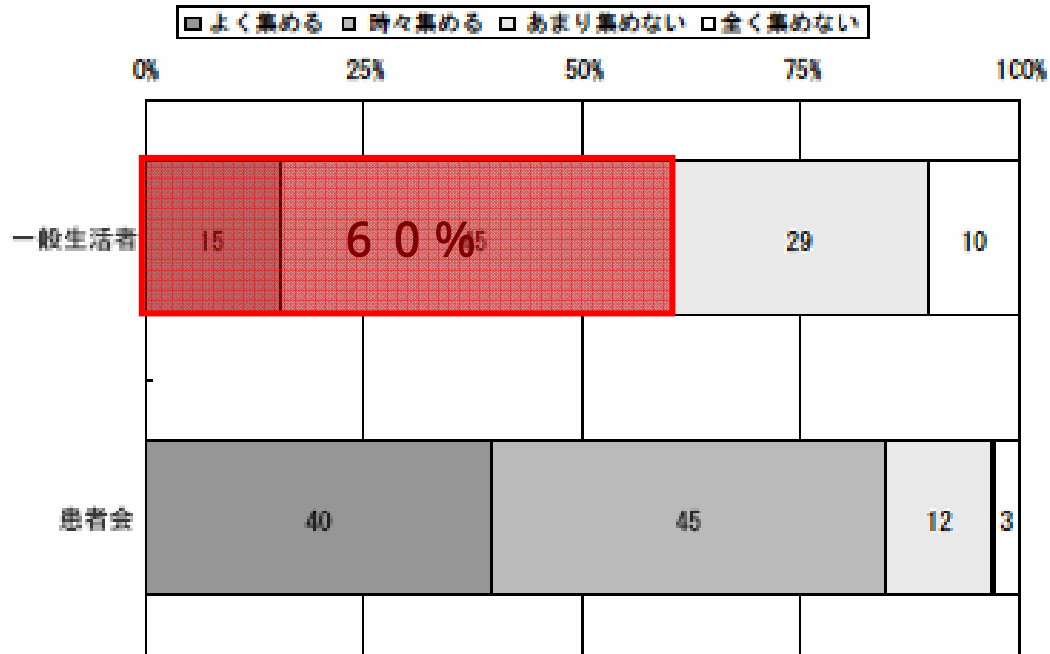




図7 どこから情報を集めるか

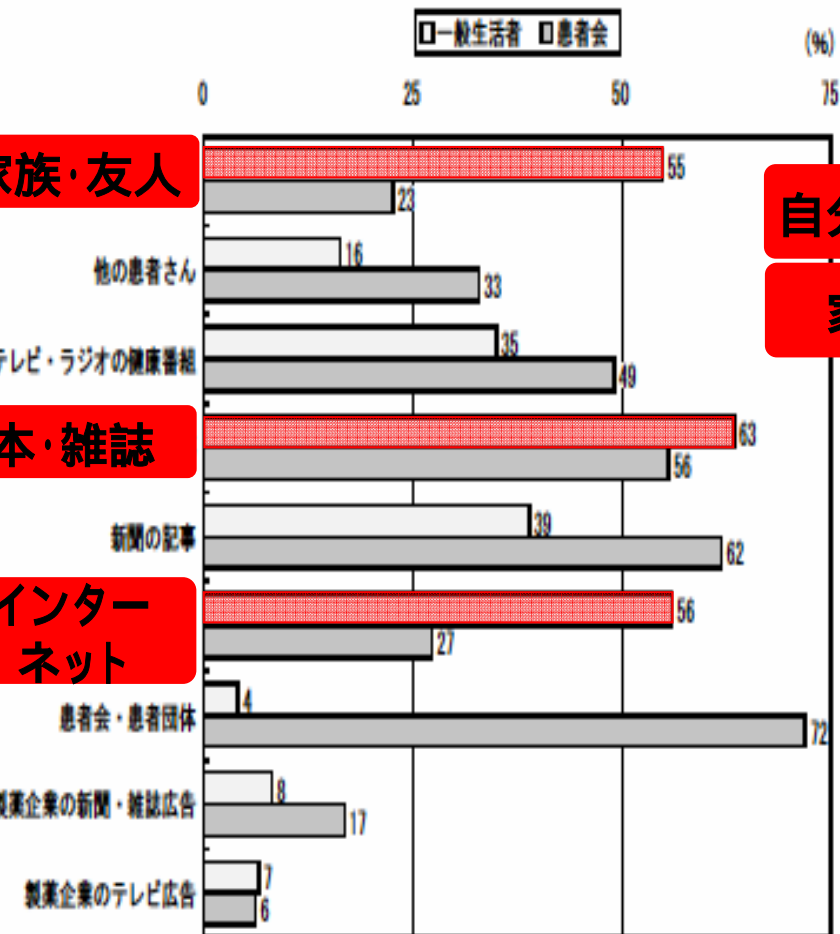
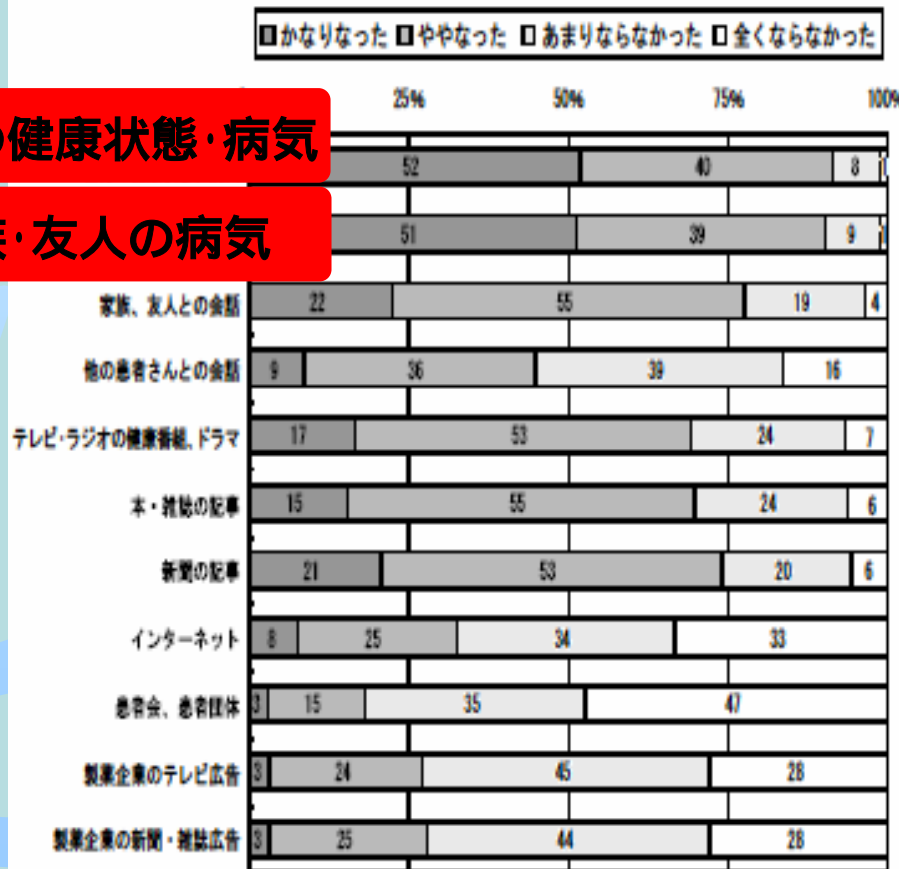


図8 病気や薬に関心をもったきっかけ  
(一般生活者)

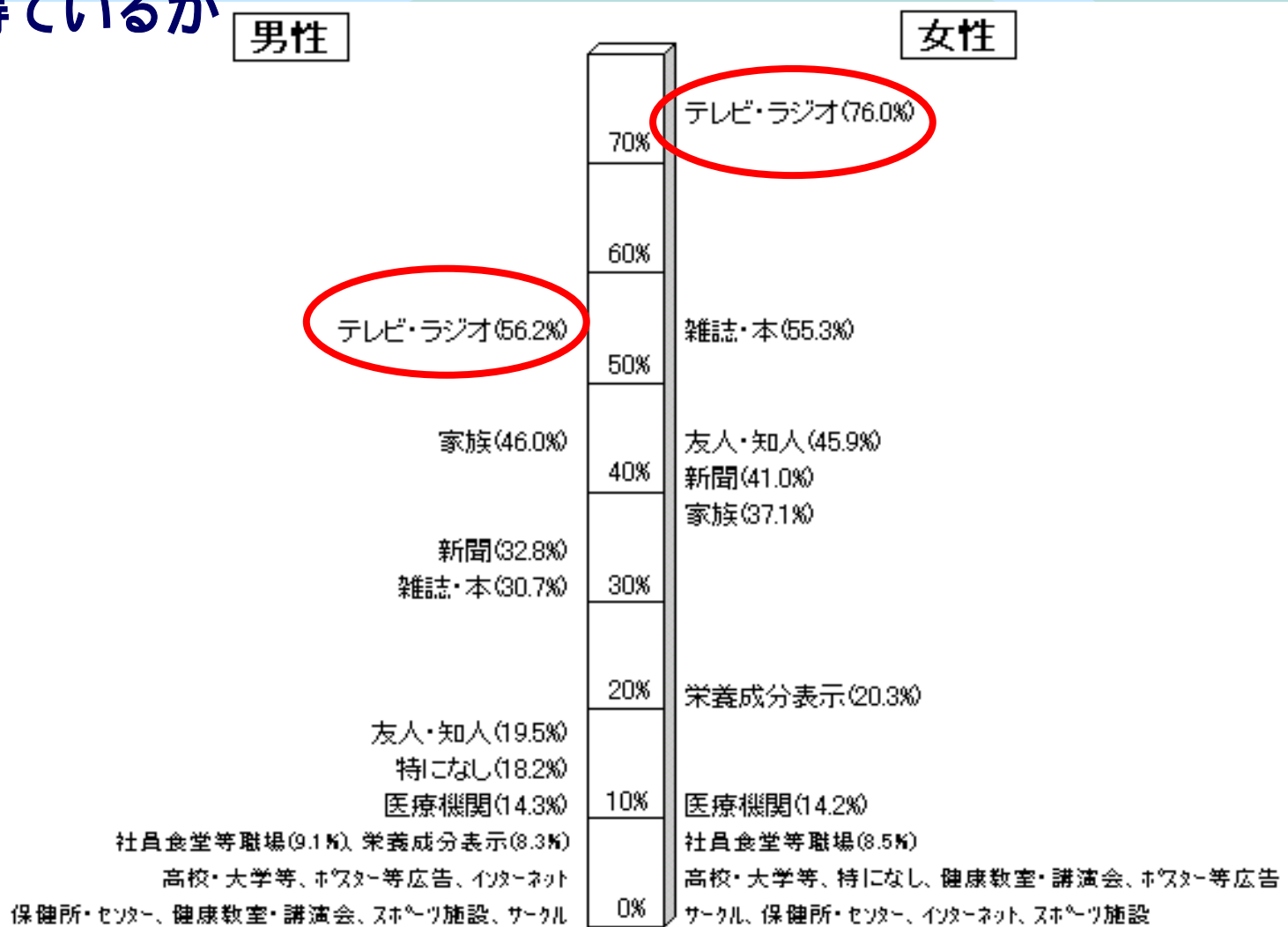
自分の健康状態・病気  
家族・友人の病気



# 平成12年 国民栄養調査

(厚生労働省HP)

- 健康づくりに必要な栄養や食事に関する知識や情報をどこから得ているか



# 「患者・家族におけるインターネット上の医療(健康)情報の利用状況と意識に関する調査」

(平成13年度厚生科学研究費補助金(医療技術評価総合研究事業)

主任研究者 辰巳治

- **研究目的**: インターネット利用における信頼性確保という観点から、実際にインターネット上で医療や健康に関する情報やサービスを利用している患者・家族を対象にアンケート調査を行い、日常の利用状況やその意識を調査分析する研究を行った。
- **対象**: 高血圧、糖尿病、喘息、アトピー性皮膚炎、胃がん・乳がん・大腸がんの疾患を有する患者及びその家族  
2000人
- **期間**: 2002年2月1日から2月5日
- **結果**: 回答率54.1%  
平均年齢は**37.1歳**  
最もよく利用する検索エンジン  
「Yahoo!」**61.8%**、「Google」13.1%、「Goo」8.3%、「MSN」7.4%、「Infoseek」4.9%、「LYCOS」1.4%、「Netscape」0.5%、その他 2.6%

## ■ 利用情報について

「**病気に関する一般的情報**」73.7%、「**病気の治療法に関する情報**」59.2%、「**薬に関する情報**」54.9%、「**医療機関に関する情報**」32.0%、「**同じ患者の体験情報**」31.5%、「**QOL(生活の質)に関する情報**」7.5%、「**医師に関する情報**」6.9%、その他2.2%

## ■ 利用情報の信頼性

「**かなり信頼できる**」9.5%、「**まあまあ信頼できる**」83.0%、「**あまり信頼できない**」7.1%、「**ほとんど信頼できない**」0.4%

## ■ 信頼できない理由(信頼できないと回答した対象者に質問)

「**情報の中身の確かさがわからない**」61.7%、「**情報量が少ない**」33.3%、「**情報の質が低い**」28.4%、「**情報量が多すぎる**」17.3%、その他8.6%、不明1.2%

## ■ 信頼できるウェブサイト(信頼できると回答した対象者に質問)

「**大学病院、国立病院**」45.2%、「**公的な研究機関**」42.4%、「**患者(個人または団体)**」36.6%、「**民間の医療情報提供会社**」35.7%、「**診療所・クリニック**」35.2%、「**厚生省などの国の機関**」31.8%、「**製薬メーカー**」30.2%、「**地域の中核病院**」24.0%、「**医師会**」23.8%、「**保健所**」18.4%、「**薬剤師**」12.5%、その他2.1%、不明1.0%

## ■ 情報内容の信頼性の基準

(「信頼できる」と思われる要素の中で重要なものは何か(複数回答)

「**実在する医療機関が提供する情報である**」55.0%、「**公的な機関が提供する情報である**」48.1%、「**医師または医師団体が提供する情報である**」47.5%、「**患者(団体)が提供する情報である**」44.7%、「**薬をつくっている製薬メーカー自身が提供する情報である**」28.5%、「**薬剤師が提供する情報である**」18.3%、その他2.3%であった。

## ■ 情報の信頼性を損ねる要因

(「信頼性を損ねる」要因は何かと尋ねたところ(複数回答)

「**誰が情報提供者がよくわからない**」67.3%、「**情報が一方的で偏っている**」60.5%、「**情報提供に営利的な要素がからんでいる**」58.6%、「**情報の作成日が古い**」44.3%、「**裏付けとなる文献・資料など、情報の出所が不明である**」43.8%、「**営利企業が提供している**」42.3%、「**情報に科学性、客観性がない**」37.2%、「**専門家の監修を経ていない**」26.3%、「**情報の作成日が不明である**」26.2%、その他1.4%であった。

# ・信頼性の高い健康に関する情報入手するための基準

## ■ インターネット上の医療情報を生活者が使用するときのポイント

- ・ JIMA運営委員会のまとめたインターネット上の医療情報の利用手続き(草案) 1999/10/30 

## ■ インターネット以外のメディアも含めた健康情報の信頼性の評価

- ・ DISCERN 

- ・ QUICK (The Quality Information Checklist) 

- ・ CASP (JAPAN) 

「消費者向け医療情報の評価ガイドライン  
DISCERN, QUICK, CASPを中心に」  
(2001. 丁元鎮、松本佳代子、栗原千絵子)  
臨床と薬物治療 2001; 20(6): 696 - 701



# DISCERN

[表 1]DISCERN の評価項目 (文献 9 より)

評価項目	いいえ	部分的に	はい
Section 1: その出版物は信頼できるか			
1. 作成の目的は明瞭か	1	2	3 4 5
2. 目的に沿った情報を提示できているか	1	2	3 4 5
3. 自分にとって意義があるか	1	2	3 4 5
4. その出版物をまとめるにあたって、用いられた情報源 (著者・製作者以外の) は明らかか	1	2	3 4 5
5. その出版物で用いられ、もしくは報告された情報がいつ作られたものであるのかが明らかか	1	2	3 4 5
6. バランスが取れており、偏りが無いか	1	2	3 4 5
7. 相談窓口や参考文献が詳述されているか	1	2	3 4 5
8. 不確実な部分についての言及はなされているか	1	2	3 4 5
Section 2: 治療方法についての情報の質はどうか			
9. 各治療法がどのように効くのかを書いてあるか	1	2	3 4 5
10. 各治療法の利点を書いてあるか	1	2	3 4 5
11. 各治療法の危険性についての記載があるか	1	2	3 4 5
12. 治療しない場合にどうなるかが書いてあるか	1	2	3 4 5
13. 治療法が全体として QOL にどのように影響するかについての記載があるか	1	2	3 4 5
14. 2つ以上の治療方法があることがはっきりと書かれているか	1	2	3 4 5
15. 意思決定の共有に役立つ記載はあるか	1	2	3 4 5
Section 3: 出版物の全体としての評価	低	中	高
16. 以上の質問への回答から、治療法に関する情報源として、その出版物は全体としてどう評価できるか	1	2	3 4 5

# QUICK

[表 3]QUICK のインターネット情報チェックリスト項目<sup>16</sup>

1.	誰がその情報を書いたのかが明らかか。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 誰が作者なのか。組織なのか、個人なのか。作者との連絡法はあるか。</li></ul>
2.	そのサイトの目的は明らかか。 <ul style="list-style-type: none"><li>● そのサイトの目的は何か。何のためか。誰のためか。</li></ul>
3.	そのサイトが作られた目的を達成しているか。 <ul style="list-style-type: none"><li>● そのサイトで行うと謳っていることを実際に行っているか。</li></ul>
4.	そのサイトは自分に有意義な情報を載せているか。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 有意義と思われる事柄を5つ列記すること。<ol style="list-style-type: none"><li>1.</li><li>2.</li><li>3.</li><li>4.</li><li>5.</li></ol></li></ul>
5.	その情報を検証できるか。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 作者はサイトの記事を書くに相応しい人物か。他で同じことを言っている人はいないか。そのことを調べる方法はないか。その情報が新しいことだった場合、その証拠はあるか。</li></ul>
6.	そのサイトはいつ作られたか。 <ul style="list-style-type: none"><li>● 最新のものか。最新のものであって、そのサイトにしかないものかどうかチェックできるか。</li></ul>
7.	その情報はいくぶんなりとも偏向していないか。 <ul style="list-style-type: none"><li>● そのサイトで特定の方向に考えを促す特別の理由はあるか。見解には偏りはないか。1つの意見だけを載せているのではないか。</li></ul>
8.	そのサイトでは可能性のある他の選択肢を載せているか。 <ul style="list-style-type: none"><li>● そのサイトにはアドバイスが載っているか。あるとすれば、そのサイトで推奨していることとは別の考え方についても述べているか。</li></ul>

(2001, 丁元鎮他著, 「消費者向け医療情報の評価ガイドライン—DISCERN, QUICK, CASPを中心に—」, 2001; 20(6):696-701より抜粋)



# JIMA運営委員会のまとめたインターネット上の 医療情報の利用手引き

## <どんな情報を利用するか 質の高い情報を利用する>

- 1 情報提供の主体が明確なサイトの情報を利用する
- 2 営利性のない情報を利用する
- 3 客観的な裏付けがある科学的な情報を利用する
- 4 公共の医療機関、公的研究機関により提供される医療情報を主に利用する
- 5 常に新しい情報を利用する
- 6 複数の情報源を比較検討する

## <どう利用するか 情報利用は自己責任で>

- 7 情報の利用は自己責任が原則
- 8 疑問があれば、専門家のアドバイスを求める

## <情報利用の結果は 自ら検証する気持ちでよりよい情報共有を>

- 9 情報利用の結果を冷静に評価する
- 10 トラブルに遭った時は、専門家に相談する。

# 検討

- 消費者が信頼性の高い医療情報を獲得するためにはどうしたら良いか？

<さまざまな視点から>

- ・ 情報入手する側と情報作成する側
- ・ 役割(消費者、医療職、政府)
- ・ 個人と組織(患者会、医療、情報関係の学会)  
などなど...

# 私が考えたこと

- いろんなポータルサイトで検索してみる
- 字が小さい！！分かりにくい！！  
サイトの中に、**字の大きさが調節**できるサイトを発見。  
Good idea! **医療者がサイトを作成する際には分かりやすい言葉で作成する。**
- 人々が健康情報に関心を持つのは、自分や家族の健康状態がきっかけ。そのタイミングに医療者から情報提供することができるのでは？  
例えば...医療に関するテレビ放映番組の情報のために診療場面で医師が困った経験 チャンスかも！？
- テレビとインターネットの違い  
テレビ 受身 インターネット 能動的！  
インターネットは一方方向のコミュニケーションだけでなく、双方方向のコミュニケーションができる！（書き込み、書き込め・・・）
- テレビの影響大きい。どうするか？